

本時のねらい

・正しいフォームでレイアップシュートができるように、タブレットを活用して自分自身の動作を確認して、良い点や改善点を考えて、改善していくことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・見本となるレイアップシュートの動画を視聴して、どういった動きやフォームなのかイメージをつけさせることができる。
・自分自身の動作をタブレットで動画撮影してもらい、良い点や改善点を見つけることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・授業支援ツール（Google クラウド） ・カメラ機能

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○出欠確認・体調確認 ○準備運動・補強運動 ○本時のめあての確認 「レイアップシュートに挑戦しよう」 ○タブレットで見本の動画を視聴する。【写真1】 ○レイアップシュートの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスルームにレイアップシュートの見本動画をあらかじめ送っておく。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○グループに分かれてタブレットを活用して、お互いのレイアップシュートの様子を動画撮影する。 ○撮影した自分のレイアップシュートの様子を確認して、グループで話し合い、良い点や改善点を見つける。 ○改善点を意識して、再度レイアップシュートの練習をする。【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影する際に、動作全体が映るように撮影する。（何度も撮りなおすことができる。） （見本と同じ角度で撮影をすれば、比較するときにわかりやすくなる。） ・グループで撮影した動画と見本の動画を比較することができる。 ・再度動画の撮影をして改善しているかどうかの確認ができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返り ・自分の気づき（動画を見て、レイアップシュートをしたことで改善されたこと）をまとめる。 ○体調確認 ○整列・挨拶 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りは Google フォームを活用して行う。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】レイアップシュートの見本の動画を視聴している様子



【写真2】レイアップシュートの実践を撮影している様子



【写真3】自分の気づきをタブレットに入力している様子

児童生徒の反応や姿容

・動画撮影の際、タブレットをどのあたりに設置すればいいか、どの角度で撮影すればいいか、生徒同士で考えている姿があった。
・自身の動作について、客観的に確認することができるので、動画視聴から気づいたことをもとに何度も練習する姿が見られた。
・撮影した動画を確認しているとき、自分だけの動画を見ているのではなく、グループでお互いに見せ合い、話し合っていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・タブレットで自分の動作を撮影してもらうことで、自分自身の動作を客観的に見ることができ、改善点を考えることができる。
・動画撮影は何回でも撮り直しができるため、フォームなどの修正を重ねて自分自身の動作が改善される過程がわかる。